

佐屋川と三里の渡し



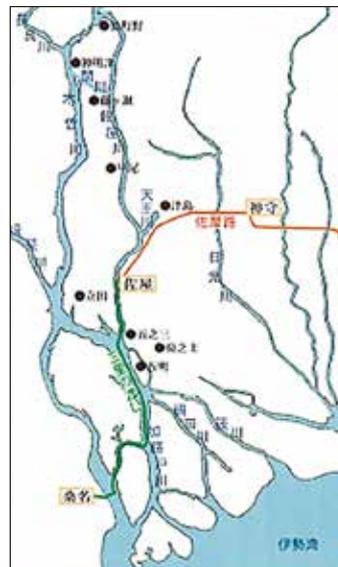
孫宝排水
土地改良区



(三里の渡しの様子)



(船着き場跡)



(三里の渡し航路)

江戸時代の頃、愛西市内を木曾川の派川である「佐屋川」が流れており、大名の参勤交代やお伊勢参りの際は佐屋川から船で木曾川を渡り、桑名と行き来していました。

この「佐屋宿」と「桑名宿」を結んでいた航路の距離が3里であったことから、「三里の渡し」と呼ばれています。

明治時代の木曾川三川分流工事により木曾川から佐屋川が完全に切り離され、佐屋川は廃川となりました。現在では佐屋川とほぼ同じ場所に海部幹線水路が造成され、農業の用排水という重要な役割を引き継いでいます。

船着き場跡周辺はもとより、海部・津島地域は「海拔0m以下の地帯」であり、自然に海へ排水することができず、排水機に頼っている地域です。孫宝排水土地改良区が管理している「孫宝第2排水機場及び新孫宝排水機場」は農地のみならず、宅地・工場等の地域全体の排水を担っています。

排水路をきれいにし、大雨が予想される際には予備排水のご協力をお願いします。



(排水路へ不法投棄された大量のゴミ)



(孫宝第2排水機場・新孫宝排水機場)

令和5年度排水機の運転状況と維持管理費 (令和5年4月1日～令和6年3月31日)

排水機場名	排水機	運転日数	運転時間	維持管理費(千円)
孫宝第2	φ2000mm×2台	139日	693時間	19,748
新孫宝	φ2400mm×2台	124日	614時間	22,002
合計	47.8m ³ /秒	263日	1,307時間	41,750

☎ 土木課 ☎(55)7125